

**企業局 平成 27 年度当初予算のポイント**

照会先	企業局経営総務室
	経営企画担当
	019-629-6388

**第 4 次 中 期 経 営 計 画 の 着 実 な 推 進**

長期経営方針（平成 22 年 3 月策定）に基づき、長期的な課題にも的確に対応しながら、健全経営を維持することを基本に、施設・設備の計画的な修繕・改良を進め、電気事業では再生可能エネルギーの新規開発の推進、工業用水道事業では施設の耐震化の推進等の課題にも対応し、第 4 次中期経営計画（H25～27 年度）の推進を図ります。

平成 27 年度当初予算は、電力及び工業用水を引き続き安定供給することにより収入の確保を図るとともに、業務効率化による経費の節減等に取り組み、黒字を確保することとします。

なお、東日本大震災津波からの復興・復旧に、引き続き積立金の活用等により適切に対応していきます。

**電 気 事 業**

⇒ **施設の適切な維持管理による電力の安定供給と新規開発への取組**

(単位：百万円、税抜)

	H27	H26	増減
収 益	4,948	4,699	249
費 用	4,257	4,254	3
<b>純 利 益</b>	<b>691</b>	445	<b>246</b>

[収益の主な増減項目] (税抜)	
・電力料	4,733 百万円(H27) ← 4,232 百万円(H26) [ +501 百万円]
・特別利益	- 百万円(H27) ← 240 百万円(H26) [△240 百万円. 皆減]
[費用の主な増減項目] (税抜)	
・退職給付費	235 百万円(H27) ← 81 百万円(H26) [ +154 百万円]
・負担金及び分担金	152 百万円(H27) ← 57 百万円(H26) [ +95 百万円]
・減価償却費	1,093 百万円(H27) ← 1,021 百万円(H26) [ +72 百万円]
・固定資産除却費	16 百万円(H27) ← 186 百万円(H26) [△170 百万円]
・特別損失	- 百万円(H27) ← 67 百万円(H26) [ △67 百万円. 皆減]
・委託費	324 百万円(H27) ← 377 百万円(H26) [ △53 百万円]

**1 信頼性の確保**  
安定供給のための工事

**長寿命化対策の検討を進めながら施設・設備の計画的な修繕・改良を実施**

- 修繕費 817 百万円(H27) ← 831 百万円(H26) [△14 百万円]
  - ・岩洞第一発電所 水車発電機オーバーホール 290 百万円
  - ・柏台発電所 水車発電機オーバーホール 237 百万円 など
- 改良費 410 百万円(H27) ← 1,944 百万円(H26) [△1,534 百万円]
  - ・岩洞第一発電所 貯水池護岸工事他 217 百万円
  - ・仙人発電所 放水口制水門更新工事 71 百万円 など

**2 経済性の確保**

**目標電力量増や電気料金改定などに伴う電力料の増加**

- 目標電力量 557,771MWh(H27) ← 499,101MWh(H26) [+58,670MWh]
- 電気料金単価 7.88 円/kWh(H27) ← 7.31 円/kWh (H26) [+0.57 円/kWh] (税抜)
- 新規発電所で固定価格買取制度を活用
  - 胆沢第三発電所: 22.00 円/kWh (税抜)
  - 相去太陽光発電所: 38.80 円/kWh (税抜) [一般競争入札]

**3 新規開発**

**大規模風力発電所の建設と新規水力発電所の検討**

- 高森高原風力発電所 (仮称) [一戸町] の建設 **継続**  
229 百万円 (総事業費 115 億円)  
送電線工事実施設計業務 101 百万円 など  
運転開始予定 H29 年度 (事業期間: H25～29) 出力 25,300Kw
- 新規水力発電所の検討 **継続**
  - ・築川ダム水力発電計画実施設計業務 32 百万円
  - ・水力開発検討業務委託 16 百万円
  - ・4 地点において流量観測等を継続実施

**工業用水道事業**

⇒ 計画的な設備更新による工業用水の安定供給と経費節減による着実な事業運営

(単位：百万円、税抜)

	H27	H26	増減
収 益	925	890	35
費 用	908	918	△10
<b>純 利 益</b>	<b>17</b>	<b>△28</b>	<b>45</b>

[収益の主な増減項目] (税抜)		
・他会計負担金	34 百万円 (H27) ←	4 百万円 (H26) [ +30 百万円]
[費用の主な増減項目] (税抜)		
・修繕費	94 百万円 (H27) ←	74 百万円 (H26) [ +20 百万円]
・委託費	154 百万円 (H27) ←	137 百万円 (H26) [ +17 百万円]
・特別損失	- 百万円 (H27) ←	41 百万円 (H26) [△41 百万円. 皆減]
・固定資産除却費	53 百万円 (H27) ←	74 百万円 (H26) [△21 百万円]

**1 信頼性の確保**  
安定供給のための工事

工業用水の安定的な供給を行うため、施設・設備の計画的な修繕・改良と配管耐震化を実施

- 修繕費 100 百万円 (H27) ← 80 百万円 (H26) [ +20 百万円]
  - ・ 第二北上工水 3池機械設備補修工事 27 百万円
  - ・ 第二北上ろ過ろ過ポンプほか補修工事 15 百万円 など
- 改良費 656 百万円 (H27) ← 232 百万円 (H26) [ +424 百万円]
  - ・ 第一北上工水 監視制御装置更新工事 207 百万円
  - ・ 第二北上工水 送水管更新工事 160 百万円 など

**2 経済性の確保**

一般会計からの負担金収入による収益の増加と経費節減の取組

- 基本契約水量
  - ・ 一般水契約水量 38,389 m<sup>3</sup>/日 (H27) ← 38,389 m<sup>3</sup>/日 (H26) [増減なし]
  - ・ ろ過水契約水量 15,900 m<sup>3</sup>/日 (H27) ← 15,900 m<sup>3</sup>/日 (H26) [増減なし]
- 給水収益 905 百万円 (H27) ← 899 百万円 (H26) [ +6 百万円]
- 他会計負担金 (金ヶ崎ろ過施設 (第二期) の維持)
  - 33 百万円 (H27) ← - 百万円 (H26) [ +33 百万円. 皆増]
- 経費節減
  - 修繕費の5%相当額をマイナス計上 など

**地 域 貢 献**

⇒ 市町村等事業への助成の充実

- 環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金の活用
  - 49 百万円 (H27) ← 50 百万円 (H26) [△1 百万円]
  - ・ 一般会計への繰出 24 百万円 (H27) ← 30 百万円 (H26) [△6 百万円]
    - 電気事業に密接に関連し、CO<sub>2</sub>削減など明確な効果の発現が期待でき、クリーンエネルギーの導入促進等に寄与する事業に充当
  - ・ クリーンエネルギー導入支援事業 25 百万円 (H27) ← 20 百万円 (H26) [ +5 百万円]
    - 知事部局の事業とすみ分けを図りながら、市町村等の要望を反映し、きめ細かい助成を実施 ⇒ H27 年度はじめて国体関連施設への補助率を引上げ
- ※H27 年度末積立金予定残高 53 百万円 (H28 年度以降の取扱いは H27 年度中に検討)
- 植樹活動支援 3 百万円 (H27) ← 3 百万円 (H26) [増減なし]
  - 支援予定地区数 15 箇所程度 職員参加予定 100 名程度